

二  
現地指令書

REEL No. A-1180

0030

アジア歴史資料センター

目次

1	南西方面海軍民政府
2	セレベス民政部
3	ボルネオ民政部
4	セラム 民政部
5	ニューブリテン民政部
6	第十四特別根據地隊
7	第八海軍建設部
8	各戸
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

TOKYO ROYAL ロイヤル特許書類判

海軍省南方政務部長殿

極秘

寫

民政府機密第一九七號

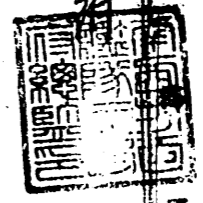
昭和十七年九月三十日

部長

南西方面艦隊司令長官殿

南西方面艦隊民政府總監

九月七日送附



「マカツサル」港倉庫建築及經營方下命ノ件報告

首題ノ件南洋倉庫株式會社ニ別紙指令書交付急遽建築方下命致候

寫送付先

- 海軍南方政務部
- 第二十三特別根據地隊司令部
- 第二百二海軍軍需部
- 運輸部
- 建築部マカツサル支部

年月日	件番号	企業者	業種	地 点	備 考
十七、九、三十	民政府機密 一九七	南洋倉庫株式會社	マカツサル港倉庫 建築及經營	マカツサル	
〃、十一、四	二八三	日本発送電株式會社	電力事業	セレバス パンボック	
十八、一、十三	民政府命令 一	株式會社台灣銀行	銀行	海軍地区	命任書
〃、三、八	民政府指令 五	トヨタ自動車工業株式	荷車製作	セルバス	
十七、十、二十九	民政府指令 三〇	住友ホルネ才殖産株式	バス運行業	ホニチ子支那管	暫定
十七、十二、二十九	民政府指令 二	南洋拓殖株式會社	貨客自動車	セルバス島	追送テ管カ
十七、十、十	民政府機密 二一七	トヨタ自動車工業	自動車工業	セルバス、ホルネ才 セラム地区	
十八、三、十三	民政府指令 八	南太平洋貿易株式	貨客自動車 設備、整備、修理 倉庫建築、因習 及荷役業務	テルナテ港	

(花附符)

海軍

指 令

南洋倉庫株式會社

其ノ社ハ別紙建築指示書ニ基キマカツサル港灣地帯倉庫十一棟（附圖ノ通）ヲ建築スベシ

右ニ依リ建築シタル倉庫ハ海軍ノ管理ニ屬スルモノトス但シ之ガ經營ハ其ノ社ニ委託スルニ付其ノ社ハ左記條項ヲ遵守シ之ガ經營ニ當ルベシ

記

一、建築及土地ニ關スル權利ノ取得ニ要スル費用ハ其ノ社ニ於テ之ヲ負擔スベシ

一、經營ハ其ノ社ノ計算ニ於テ之ヲ爲スベシ

一、其ノ社ハ占領地經濟建設ノ一翼タル使命ヲ認識シ之ガ經營ニ當ツテハ苟モ國家目的ト公益ニ違背スル所爲アルベカラズ

（附圖一六頁参照）

海軍

一、民政府總監ハ當該倉庫ノ經營ニ關シ公益上必要ナル命令ヲ爲スコトアルベシ

一、其ノ社ハ當該倉庫ニ關シ讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ但シ民政府總監又ノ命ニ依ル場合又ハ其ノ魁許可ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一、其ノ社當該倉庫ニ關シ擴張、修理、改造其ノ他當該倉庫ノ現狀ヲ變更セントスルトキハ民政府總監ノ許可ヲ受クベシ

一、其ノ社當該倉庫ニ關スル料金ヲ設定シ又ハ之ヲ變更セントスルトキハ民政府總監ノ許可ヲ受クベシ

一、民政府總監當該倉庫ノ經營ニ關シ必要アリト認ムルトキハ現價ヲ以テ當該倉庫ヲ買收シ又ハ他ノ者ニ賣却スベキコトヲ命ズルコトヲ得

（附圖一六頁参照）

一、民政府總監ハ當該倉庫ノ經營監督上必要ナル報告ヲ後シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ情況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトアルベシ

一、民政府總監ハ本指令書ニ規定スル權限ノ一部ヲセレベス民政部長官ニ委任スルコトアルベシ

昭和十七年

比 政 府 總 監

海 軍

附圖一六(倉庫)

海 軍

「マカツナル」港ノ倉庫建築ニ關スル指示書

南洋倉庫株式會社

一、其ノ社ヲシテ建築セシムル倉庫(附圖着色ノ個所)ハ左ノ十一個所總面積約一八、八〇〇平方米トス

附圖記號	位 置	面 積 平方米	倉庫建築豫定地域地籍番號
H	ウイルヘルミナ街沿	二四〇〇	四八二 四八三 四八一
I		八〇〇	四八四 四七九
J		三〇〇〇	四三五 四三六 四三七 四三八 四三九 四四〇 四四一 四四二 四四三 四四四 四四五 四四六 四四七 四四八 四四九 四五〇 四五二 四五三 四五四 四五五 四五六 四五七 四五八 四五九 四六〇 四六一 四六二 四六三 四六四 四六五 四六六 四六七 四六八 四六九 四七〇 四七一 四七二 四七三 四七四 四七五 四七六 四七七 四七八 四七九 四八〇 四八一 四八二 四八三 四八四 四八五 四八六 四八七 四八八 四八九 四九〇 四九一 四九二 四九三 四九四 四九五 四九六 四九七 四九八 四九九 五〇〇 五〇一 五〇二 五〇三 五〇四 五〇五 五〇六 五〇七 五〇八 五〇九 五一〇 五一二 五一三 五一四 五一五 五一六 五一七 五一八 五一九 五二〇 五二一 五二二 五二三 五二四 五二五 五二六 五二七 五二八 五二九 五三〇 五三一 五三二 五三三 五三四 五三五 五三六 五三七 五三八 五三九 五四〇 五四一 五四二 五四三 五四四 五四五 五四六 五四七 五四八 五四九 五五〇 五五一 五五二 五五三 五五四 五五五 五五六 五五七 五五八 五五九 五六〇 五六一 五六二 五六三 五六四 五六五 五六六 五六七 五六八 五六九 五七〇 五七一 五七二 五七三 五七四 五七五 五七六 五七七 五七八 五七九 五八〇 五八一 五八二 五八三 五八四 五八五 五八六 五八七 五八八 五八九 五九〇 五九一 五九二 五九三 五九四 五九五 五九六 五九七 五九八 五九九 六〇〇 六〇一 六〇二 六〇三 六〇四 六〇五 六〇六 六〇七 六〇八 六〇九 六一〇 六一二 六一三 六一四 六一五 六一六 六一七 六一八 六一九 六二〇 六二一 六二二 六二三 六二四 六二五 六二六 六二七 六二八 六二九 六三〇 六三一 六三二 六三三 六三四 六三五 六三六 六三七 六三八 六三九 六四〇 六四一 六四二 六四三 六四四 六四五 六四六 六四七 六四八 六四九 六五〇 六五一 六五二 六五三 六五四 六五五 六五六 六五七 六五八 六五九 六六〇 六六一 六六二 六六三 六六四 六六五 六六六 六六七 六六八 六六九 六七〇 六七二 六七三 六七四 六七五 六七六 六七七 六七八 六七九 七八〇 七八一 七八二 七八三 七八四 七八五 七八六 七八七 七八八 七八九 八九〇 八九一 八九二 八九三 八九四 八九五 八九六 八九七 八九八 八九九 九〇〇 九〇一 九〇二 九〇三 九〇四 九〇五 九〇六 九〇七 九〇八 九〇九 九一〇 九一二 九一三 九一四 九一五 九一六 九一七 九一八 九一九 九二〇 九二一 九二二 九二三 九二四 九二五 九二六 九二七 九二八 九二九 九三〇 九三一 九三二 九三三 九三四 九三五 九三六 九三七 九三八 九三九 九四〇 九四一 九四二 九四三 九四四 九四五 九四六 九四七 九四八 九四九 九五〇 九五二 九五三 九五四 九五五 九五六 九五七 九五八 九五九 九六〇 九六一 九六二 九六三 九六四 九六五 九六六 九六七 九六八 九六九 九七〇 九七二 九七三 九七四 九七五 九七六 九七七 九七八 九七九 九八〇 九八一 九八二 九八三 九八四 九八五 九八六 九八七 九八八 九八九 九九〇 九九一 九九二 九九三 九九四 九九五 九九六 九九七 九九八 九九九 一〇〇〇

附圖一六(倉庫)



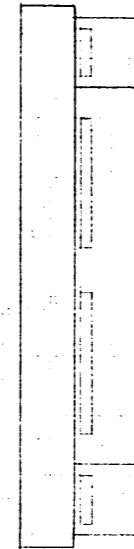
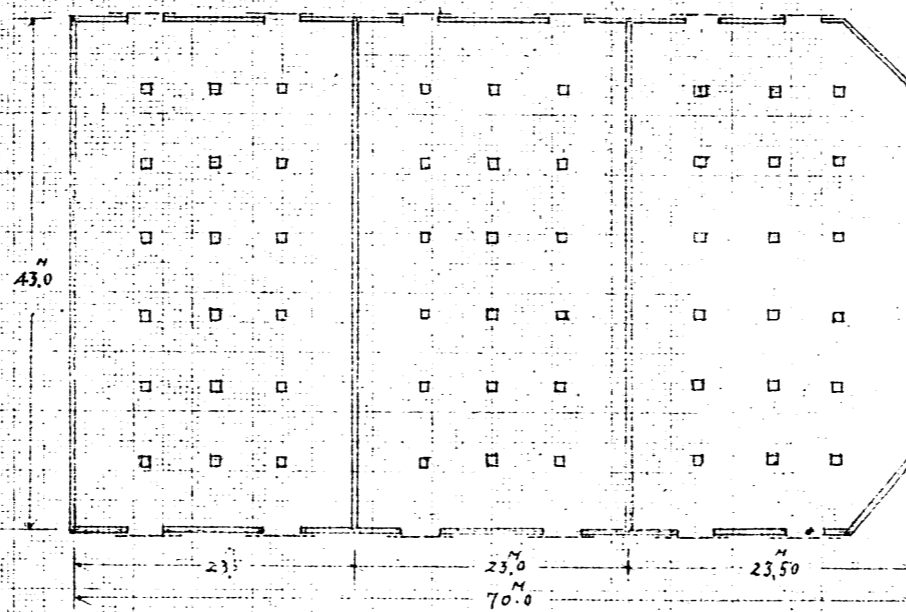
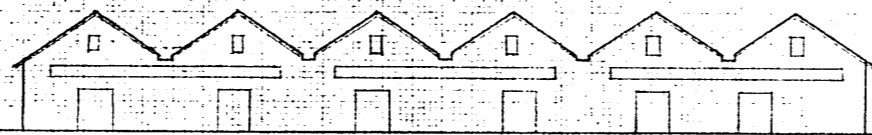
ノヲ建築スル必要アル時ハ其ノ理由ヲ付スベシ  
六、其ノ社ハ建築ヲ爲スル當リテハ當該敷地内ノ殘存物件ノ利用又  
ハ故材再用ニ特ニ努力スベシ  
七、其ノ社ハ工事ニ着手シタルトキハ一週間以内ニセレベス民政部  
長官ニ着工届ヲ提出シ、當該倉庫竣功ノ後一週間以内ニ竣功圖及  
工費精算書ヲ提出シ、且ツ同長官ノ検査ヲ受クベシ  
八、其ノ社ハ昭和十八年四月ヲ以テ全倉庫竣功ノ目途ト爲スコトヲ  
要ス

(終)

附圖二葉添付

秘

民有倉庫(3)

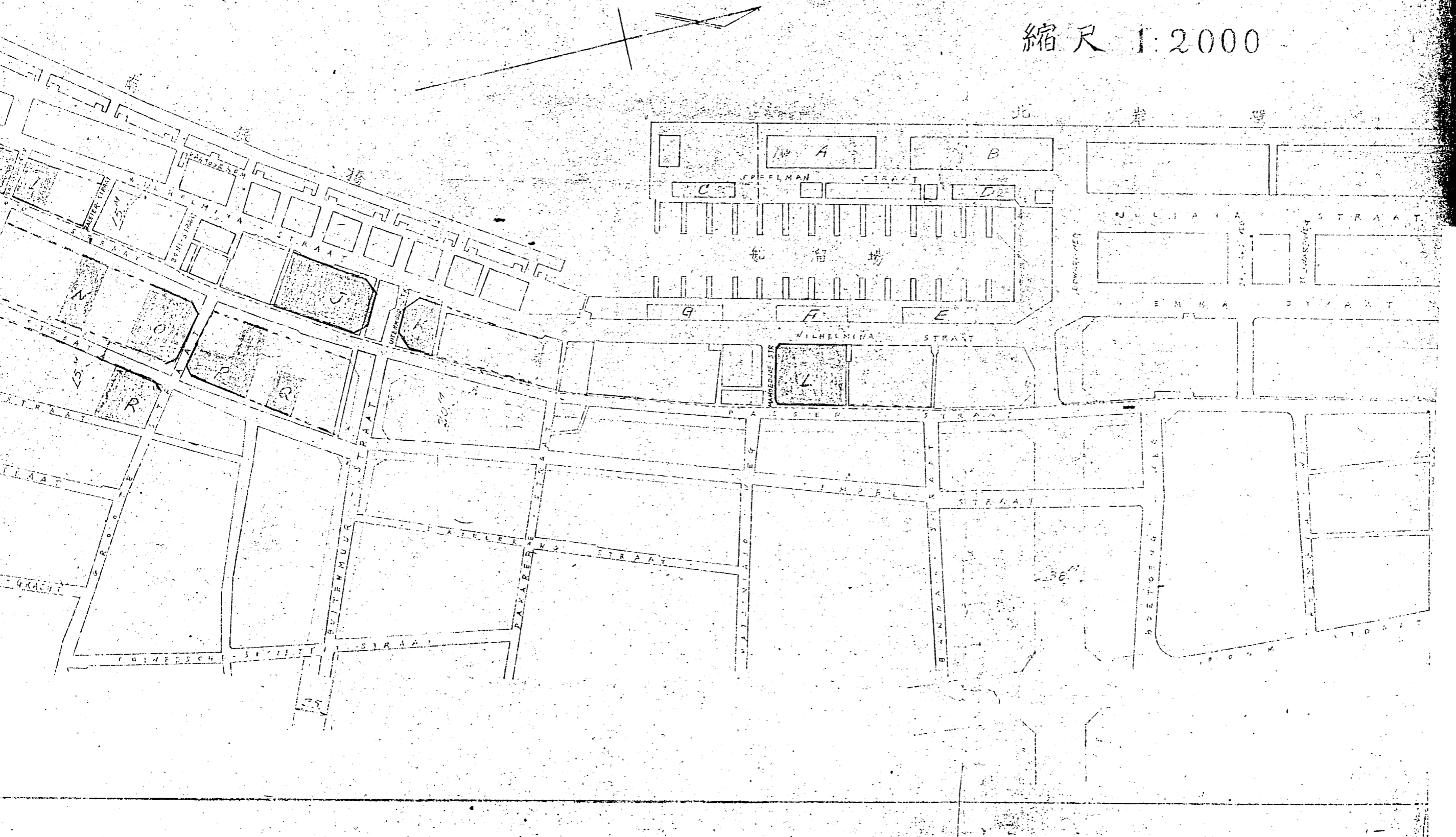




マカッサル港  
上屋倉庫復興計画

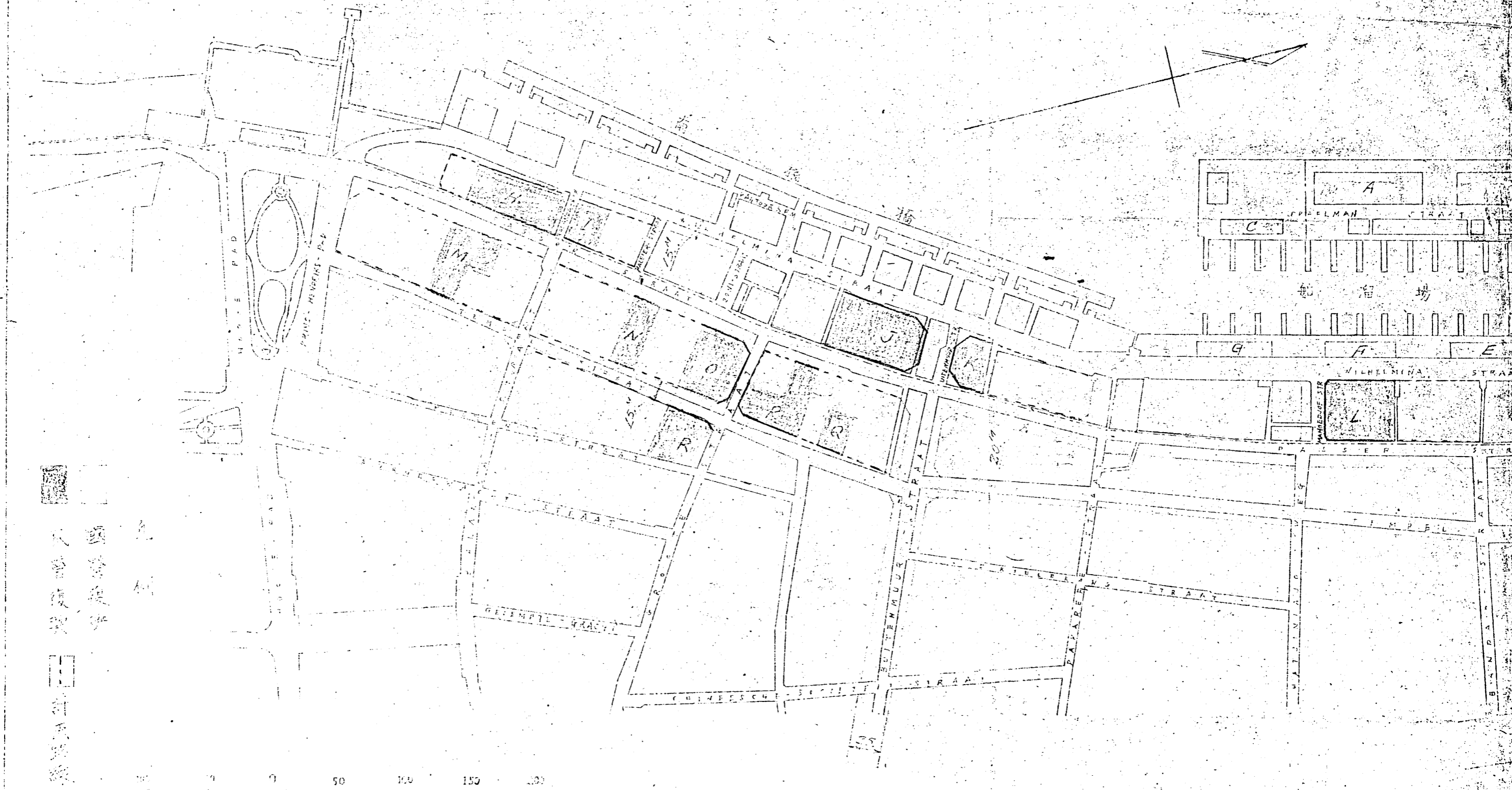
# マカッサル港平面圖

縮尺 1:2000



REEL No. A-1180

マカッサル港  
上屋倉庫復興計画



REEL No. A-1180

寫

民政府機密第二八三號

昭和十七年十一月四日

秘

部	長	官	長	官	長	官	長	官	長

南西方面艦隊參謀長殿

南西方面艦隊民政府總監代理  
海軍少將 伊藤賢

十一月四日送付

17.11.4  
接

首題ノ件日本發送電株式會社ニ委託別紙指令書交付急速着手方下命  
致候

(別紙添)

(終)

寫送付先

南方政務部長

二十一年根利令第

兵備局長

第千三海軍特別根據地隊司令官

指令書

日本發送電株式會社

其ノ社ニ對シ左記條項ニ依リ「セレベス」「バリ」及「ロンボック」島ニ於ケル電力事業ノ復舊、建設並ニ其ノ運営ヲ委託ス

- 一、其ノ社ハ占領地經濟建設ノ一翼タル使命ヲ認識シ、之ヲ經營ニ當リテハ苟モ國家目的ト公益ニ違背スル所爲アルベカラズ
- 二、委託事業ノ經營ハ其ノ社ノ計算ニ於テ之ヲ爲スベシ
- 三、委託事業經營ニ關シテハ民政部長官之ヲ監督ス  
民政部長官ハ監督上必要ナル報告ヲ徴シ、又ハ當該官吏ヲシテ検査ヲ爲サシムルコトアルベシ
- 四、其ノ社ハ委託事業經營會計ヲ、建設勘定及業務勘定ニ分チ、毎年度ノ豫算決算ニ付キ、民政部長官ノ承認ヲ受クベシ
- 五、其ノ社ニ貸與、使用セシムベキ海軍管理既存施設ニ關シテハ、各個ニ付キ目錄ヲ調製、評價ヲ爲シ、民政部長官ノ承認ヲ受クベキモノトス

- 前項ノ貸付施設ニ對シテハ使用料ヲ徵ス
- 六、新ニ必要トスル施設及土地ニ關スル權利ノ取得ハ、其ノ社ノ負擔ニ於テ之ヲ爲スベシ
  - 七、其ノ社ハ民政部長官ノ指示スル方針ニ違ヒ電力設備ノ復舊、建設、又ハ改造ヲ爲スコトヲ要ス
  - 八、其ノ社ハ民政部長官ノ命ズルトコロニ違ヒ、配電ヲ爲スコトヲ要ス、但シ小口配電ニ付テハ毎年豫定ヲ樹テ一括民政部長官ノ承認ヲ受ケ實施スルコトヲ得
  - 九、電氣料金ハ總テ民政部長官ノ承認ヲ受ケ實施スベシ
  - 一〇、民政部長官必要アリト認ムルトキハ、其ノ社ノ施設ノ全部又ハ一部ヲ適正ノ價格ヲ以テ買收シ又ハ他ノ者ニ賣却スベキヲ命ズルコトアルベシ
  - 一一、他ノ電力施設ト關連アル場合ニ於テハ設備及電力ヲ相互融通ス

ル等協力ヲ爲スコトヲ要ス

- 一二、其ノ社ハ必要ニ應ジ、民政部長官ノ許可ヲ受ケ、電氣用品ノ修繕及販賣ヲ爲スモノトス
- 一三、民政府總監必要アリト認ムルトキハ本指令ヲ取消又ハ變更スルコトアルベシ

昭和十七年十一月四日

民政府總監代理  
海軍少將 伊藤 賢三

海軍省南方政務部長 殿

民國政府訓令第十三號

昭和十八年一月十二日

一月十二日 送付

南西方面艦隊

南西方面艦隊 民國政府總監

ボルネオ民政  
セラム

務政方	閣	閣	閣
務政方	閣	閣	閣
務政方	閣	閣	閣
務政方	閣	閣	閣

敵性銀行清算開始ニ關スル件訓令

今般海軍主擔任地區所在敵性銀行各店ヲ整理清算ニ附スルコトトシ管  
 下臺灣銀行各店ヲシテ之カ清算事務ヲ取扱ヲ命シタルニ付貴官ハ直チ  
 ニ同行ヲ指揮シテ清算實施ニ必要ナル諸準備ニ着手スヘシ

(別紙添)

寫送付先

- 南西方面艦隊參謀長
- 海軍省南方政務部長
- 各民政部 支部長

(終)

海軍

(別紙)

敵性銀行清算開始ニ關スル件

一、民國政府總監ハ海軍主擔任地區所在左記敵性銀行各店ニ對シ清算ヲ  
 命ス

爪哇銀行

和蘭銀行 (フアクトライ)

蘭印商業銀行

蘭印割引銀行

- 二、民國政府總監ハ臺灣銀行ヲ前項各銀行ノ清算人ニ任命ス
- 三、清算人ハ民國政府總監ノ定ムル所ニ依リ當該清算銀行ヲ代表シ清算  
 ニ關スル一切ノ裁判上裁判外ノ行爲ヲ爲スモノトス
- 四、清算人ハ各民政部長官監督ノ下ニ直チニ敵性銀行各店ノ帳簿ノ整  
 理、資産内容ノ調査、手形、債權證書、不動產權利證書等ノ蒐集、  
 擔保物件ノ保全等清算開始ニ必要ナル諸準備ニ着手シ速ニ其ノ結

- 果ヲ所轄民政部長官經由民政府總監ニ報告スルモノトス
- 五、清算開始時期並ニ清算實施要綱ハ民政府總監艦隊司令長官ノ認許ヲ經テ別ニ之ヲ定ム
  - 六、現地各部隊（逕理部ヲ含ム）ハ清算實施上必要ナル事項ニ付民政府（部）ニ協力スルモノトス  
（艦隊司令長官ヨリ各部隊所轄長ニ對シ別途通達セララルル筈）
  - 七、敵性銀行清算ニ關スル總轄事務ハ民政府財務局ニ於テ掌理スルモノトス

（終）

民政府命令第一號  
命 任 書

株式會社 臺灣銀行

其ノ行ハ海軍主擔任地區所在敵性銀行各店ノ清算事務ヲ取扱フヘシ  
其ノ行ノ海軍主擔任地區所在各店ハ直チニ清算實施ニ必要ナル準備ニ着手スヘシ  
清算開始時期並ニ清算實施要綱ハ別ニ之ヲ定ム

昭和十八年一月十三日

南西方面艦隊民政府總監

南方政務部長殿

民政府機密第十五號

昭和十八年一月二十八日

寫

局長	副局長
第一課長	第二課長
第三課長	第四課長
第五課長	第六課長
第七課長	第八課長
第九課長	第十課長

南西方面艦隊

セボレムオス

民政部長官 殿

一月二十八日送付  
南西方面艦隊民政府機密

南西方面艦隊  
機密  
26  
接収

敵性銀行清算實施要綱ノ件訓令

標記ノ件ニ關シ別紙ノ通り決定シタルニ付右ニヨリ實行スヘシ

追而清算開始ノ時期ニ付テハ民政府佈告ヲ以テ通達ス

(別紙添)

(終)

寫送付先

- 海軍省 經理局長
- 海軍省 南方政務部長
- 南西方面艦隊 參謀長
- 第二十二特別根據地隊司令官
- 第二十三特別根據地隊司令官
- 第二十四特別根據地隊司令官
- 第二百二海軍 經理部長
- 同 マカツサル支部長
- 同 バリツクバン支部長
- 同 セレベス民政部メナド支部長
- 同 ボルネオ民政部バリツクバン支部長
- 同 タラカン支部長
- 同 サマリンガタ支部長
- 同 ボンチアナク支部長
- セラム民政部シンガラジャ支部長

別紙不

南西方面艦隊機密第五一號ノ二

昭和十八年一月二十一日

寫

スラバヤ艦隊足柄

南西方面艦隊司令長官

民政府機密第一二號敵性銀行清算實施要綱ノ件認許ス

(終)



別紙第二

民政府機密第二二號

昭和十八年一月十三日

南西方面艦隊民政府總監

南西方面艦隊司令長官殿

敵性銀行清算實施要綱ノ件上申

南西方面艦隊機密第二三號ノ七ニ依リ民政府管下所在敵性銀行各店ノ清算實施要綱別紙ノ通相定メ直チニ實行スルコトト致度候條認許相成度

(別紙添)

寫送付先 海軍省南方政務部長

(終)

敵性銀行清算實施要綱案

第一條 南西方面艦隊民政府管轄地域ニ所在スル左記銀行各店ハ之ヲ

整理清算ニ附スルモノトス

爪哇銀行 マカツサル、メナド (以上セレベス) パンジャルマシ

ン、ボンチアナク (以上ボルネオ) 各支店

和蘭銀行 (フアクトライ) マカツサル (セレベス)

パンジャルマシ、バマンカツト、ボンチアナク、

ンパス、シンカワン (以上ボルネオ) デンバツサル、

バダンバイ (以上バリ) 各支店及代理店

蘭印商業銀行 マカツサル、メナド、ゴロンタロ (以上セレベス) パ

ンジャルマシ、ボンチアナク (以上ボルネオ) アシ

バナ (ロンボク) 各支店

蘭印引銀行 マカツサル、メナド (以上セレベス) 各支店

第二條 民政府總監ハ臺灣銀行ヲ敵性銀行清算人ニ任命シ之カ公告ヲ爲スモノトス

清算人ハ民政府總監ノ定ムル所ニ依リ當該銀行ヲ代表シ清算ニ關スル一切ノ裁判上裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第三條 敵性銀行ノ資產（動産、不動産、有價證券、債權並ニ現金、以下同シ）ハ總テ海軍ニ於テ押收スルモノトシ清算人ヲシテ之カ處理ニ當ラシムルモノトス

第四條 清算人ハ左記證券、現金及證券類ノ有無ヲ調査シ其ノ結果ヲ當該店舗所在地ヲ管轄スル民政部長官經由民政府總監ニ報告スルモノトス

一 資産、負債内譯調査並ニ附屬表

二 不動産ニ關シ權利ヲ表示セル證書

三 所有有價證券並ニ郵便小爲替、政府ノ支拂命令書、未使用郵便切手收入印紙

四 保有現金

五 各種債權證書及手形類

六 擔保物件並ニ之ヲ表示スル證書

七 諸帳簿及印鑑

第五條 清算人ハ敵性銀行ノ債權者、債務者、其ノ他ノ利害關係人ニ對シ一定期日後二週間以内ニ其ノ債權、債務又ハ利害關係ヲ證明スルニ足ル證據資料ヲ附シ清算人ニ届出ツヘキ旨ヲ公告スルモノトス

第六條 前條ノ公告ニハ期間内ニ届出ツ爲ササル債權者ハ權利ヲ拋棄シタルモノト看做シ、債務者ハ銀行側記帳ニ依リ債權ノ取立ヲ受クヘキ旨ヲ附記スルモノトス

第七條 預金者其ノ他敵性銀行ニ對スル債權者ハ其ノ權利ヲ當該銀行ニ登録スルモノトス

權利ノ得喪變更ハ前項ノ登録ニ依リテノミ銀行ニ對抗シ得ルモノトス  
第八條 特ニ宥恕スヘキ事情アリト認ムル場合ニ於テハ第五條及第七條ノ規定ニ拘ラス特別ノ斟酌ヲ爲スコトヲ得

第九條 敵性銀行ノ保有スル交換持出小切手類ハ清算開始ト同時ニ各行間ニ於テ決済スルモノトス

第十條 敵國政府（重慶政府ヲ含ム以下同シ）及公共團體等ノ固有又ハ公有ニ係ル預金ニ相當スル資産ハ一般資産ヨリ別除ノ上之ヲ沒收スルモノトス但シ清算費用ヲ支辨スル爲必要ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 前條ニヨリ別除ヲ爲シタル殘余ノ現金並ニ資産ノ換價處分及債權ノ取立ニヨリ代リ金ハ臺灣銀行別段預金勘定中ニ敵産管理勘定ヲ設ケ各行別口座ニ受入レ整理スルモノトス

第十二條 敵産管理勘定ハ左記ノ順序ニ依リ拂出スモノトス  
一 清算ニ要スル費用  
二 預金其ノ他ニ對シ債務

第十三條 貸出金ハ擔保物件ノ現状如何ニ拘ハラズ全部之カ取立ヲ爲スモノトス

第十四條 擔保物件カ滅失若ハ所在不明ノ場合又ハ海軍ニ依リ戰利品トシテ處分セラレタル場合ニ於テハ其ノ狀況ニ應シ貸出金ノ減額又ハ免除ヲ爲シ得ルモノトス

第十五條 擔保物件カ海軍ノ管理下ニ現存スルトキハ清算人ニ於テ之カ引渡ヲ受クルモノトス但シ引渡ヲ受クルコト困難ナル事情アル時ハ其ノ換價代リ金ヲ受領スルコトヲ得

第十六條 擔保物件ノ處分ハ原則トシテ競賣ニ依ルモノトス但シ特別ノ事情アル場合ハ任意契約ニ依ルコトヲ得

第十七條 貸出金ニ對スル利息ハ原契約ノ利率ニ依リ之ヲ徵求スルモノトス  
期限經過後ノ利息ニ就キテハ其ノ事情ニ應シ減額又ハ免除スルコトヲ得

第十八條 貸出金返済充當ノ順序ハ元金ヲ先ニシ利息ニ及ボスモノトス

第十九條 敵性銀行ニ對スル債務者ハ清算ニ當リ期限ノ利益ヲ主張シ得サルモノトス

第二十條 輸入手形其ノ他外貨表示ノ貸出金ノ決済ハ昭和十七年度最終營業日ニ於ケル爲替相場ニヨリ換算シタル盾貨ヲ以テ之ヲ行フモノトス

前項ノ場合ニ於テ豫約相場ハ之ヲ認メス

第二十一條 海軍ノ管理下ニ在ル會社、工場等ニ對スル債權ニ就キテハ海軍管理中特別ノ考慮ヲ拂フモノトス

第二十二條 同一銀行内ニアル同一名義人ノ債權、債務ハ債權者振出又ハ作成ノ小切手、受領書若ハ承諾書等ノ徵求ヲ行フコトナク其ノ應當額ニ就キ銀行振替整理ニ依リ相殺ヲ爲シ得ルモノトス

第二十三條 預金債權ニ付テハ利息ハ凡テ之ヲ計算セス

第二十四條 預金ハ左ノ順位及標準ニ從ヒ拂戻ヲ爲スモノトス

一 日本人預金 全額

二 原住民

可成多額

三 樞軸國人及中立國人預金

可成多額

四 協力スル華僑預金

適宜

五 右以外ノ華僑及敵國人預金

拂戻ヲ爲ササルヲ原則トスルモ事情ニ應ジ最低限度ノ生活費相當額ヲ拂戻スコトヲ得

第二十五條 預金拂戻ノ時期並ニ金額割合等ハ當該店舗所在地ヲ管轄スル民政部長官民政府總監ノ承認ヲ經テ之ヲ決定スルモノトス

第二十六條 保護預り品ハ左記ニ依リ處理スルモノトス  
一 敵國所有、公有其ノ他敵性アリト認ムル者ノ所有ニ係ル物ハ沒收ス

二 敵國人ノ私有物ハ内容検査ノ上之ヲ臺灣銀行ニ於テ保管ス

三 原住民、第三國人及中國人ノ所有物ハ内容検査ノ上之ヲ返還ス

第二十七條 外貨表示預金及他行又ハ本支店ニ對スル隨地隨貸借ハ一

應清算ヨリ除外スルモノトス

第二十八條 敵性銀行各店ハ差當リ其ノ地限りノ資産、負債ノ現況ニ基キ清算ニ附スルモノトシ將來情勢ニ應シ爪哇所在本店其ノ他各店トノ間ニ於テ必要ナル調整ヲ行フモノトス

第二十九條 左記事項ニ關シテハ所管民政部長官ノ許可ヲ受クルモノトス

一 所有物並ニ擔保物件等ノ處分並ニ運用

ニ 債權ノ減額又ハ免除

三 經費ノ支拂及預金ノ拂戻其ノ他ノ支出

四 資産管理勘定ノ運用

第三十條 清算事務ニ關シ受入又ハ拂出アリタル時ハ其ノ内容ヲ明記シ所管民政部長官經由民政府總監ニ報告スルモノトス

第三十一條 毎月末其ノ月中ノ受拂高並ニ清算事務進捗狀況ヲ所管民政部長官經由民政府總監ニ報告スルモノトス

第三十二條 清算人又ハ其ノ代表者若ハ代理人トシテ清算事務ニ從事

スル者其ノ職務ヲ懈怠シ又ハ其ノ職務ヲ行フニ付不正ノ行爲アリタルトキハ軍律ニ依リ之ヲ處罰ス

第三十三條 民政府總監ハ必要アルトキハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

(終)

極秘

海軍省副大臣政務部長殿  
民政府機密第五一號

昭和十八年三月八日

三月一日送付

南西方面艦隊民政府總監

署

印

18.3.20

印

南西方面政務部長殿

南西方面政務部長	副長	司令官	官殿
A	B	C	D

荷車製作方下命ノ件報告

管内陸運ノ現状ニ鑑ミ自動車補助輸送機關ヲ擴充シ自動車保有ノ不足ヲ補足スル爲トヨタ自動車工業株式會社ニ別紙ノ通荷車ノ計劃的増産ヲ命令致候

(終)

(別紙指令書添)  
寫送付先

- 海軍省南方政務部長
- 海軍省兵備局長
- 海軍省軍需局長
- 第二、三、四各特別根據地隊司令官
- 第一〇二海軍軍需部長
- 第一〇二海軍建築部長

民政府指令第五號

昭和十八年三月八日

指令書

トヨタ自動車工業株式會社

別紙目途ヲ以テ荷車製作ヲ實施スベシ  
但シ左記ノ通心得ヘシ

海軍民政府總監

記

- 一 速ニ實施計劃ヲ樹テ民政部長官ノ承認ヲ受クヘシ
- 一 事業實施ニ關シ必要ナル事項ハ民政部長官ノ指示ヲ受クヘシ
- 一 民政府總監必要ト認ムルトキハ本指令ヲ取消スコトアルヘシ

(別紙)

一 荷車製作目標

昭和十八年十二月迄ニ左ノ數量ヲ製作スルヲ目標トス

セレベス地區 一、五〇〇臺

ボルネオ地區 一、〇〇〇臺

セラム地區 五〇〇臺

計 三、〇〇〇臺

二 車種

新ニ製作スル荷車ハ概ネ左ノ四種トス、車輛ノ型式及製作車種ハ地方的慣習ヲ考慮シテ更ニ考究ノ上民政部長官ノ承認ヲ得テ決定スルモノトス

1、水牛又ハ牛力索引車

2、馬力索引車

3、人力索引車

4、荷役及倉庫用人力索引車

三 構造

新造車ノ車体及車輛ハ木骨トシ、車軸、輪帯、釘、連結金物ノ外原則トシテ鐵材ヲ使用セザル構造トシ所要ノ資材ハスベテ現地調辦ニヨルモノトス

在來車ノ構造ニ拘ラズ其ノ改良ニ努ムルト共ニ故材活用ノ特殊構造車ノ製作ニ付テモ考慮スルモノトス

四 製品ノ引受ニ付テハ民政部長官別ニ之ヲ指示スルモノトス

海軍省南方政務部長

民政府總機密第六三號

昭和十八年三月一日

政務部

南西方面艦隊司令官

福井

淳殿

方面艦隊民政府總務局長

三月一日送付代

18.3.25 接受

阪

一定路線ニ據ル自動車運輸事業ノ委託  
經營ニ關スル件通牒  
一月二十七日付ボルネオ民政部經第一號ノ一三ヲ以テ稟伺ニ係ル首  
題ノ件承認相成度候  
追而本件ニ付テハ西ボルネオ一帯ニ於ケル自動車運輸事業ノ統一  
的運營ト將來ノ擴充トヲ考慮シテ此ノ際寧ロ海軍管理ノ委託民營  
事業トスルヲ適當ト認メラルルニ付御考慮相成度

海軍

尙此ノ場合ニ於テハ客年十二月二十九日民政府機密第三三五號ヲ  
以テ送付セル「自動車交通事業經營方下命ノ件」ノ趣旨ニ據リ更  
メテ民政府ニ於テ詮議セラレル儀ニ付爲念

寫送付先

南西方面艦隊參謀長

海軍省南方政務部長

(終)

海軍



寫

ボルネオ民政部經第一號ノ一三

昭和八年一月二十七日

南西方面艦隊民政政府交通土木局長殿

南西方面艦隊民政政府經濟部長

バス運行業（暫定）依託經營ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シ當部ボンチャナツク支部管轄地區ニ於テハ原住民ノ  
バス運行業者多數ニシテ其ノ經營單一ナラズ、又燃料不足ノ爲定期  
運行不可能ニシテ且料金著シク高率不定ノ實情ニアリ、一般原住民  
ノ經營ニ放任シ置ク事ハ民政實施上不適當ト思料セララルニ付之ガ  
一元的統制ヲ圖リ運輸ノ圓滑ヲ期スル爲ボンチャナツク支部直營ト  
シ住友ボルネオ殖産株式會社ヲシテ暫定的ニ之ガ運營ヲ代行セシム  
ルコトニ致シタルニ付御承認相成度  
追テボンチャナツク支部ヨリボルネオ殖産株式會社ニ下附セシ許

南西方面艦隊民政政府交通土木局長殿  
昭和八年一月二十七日  
13  
接受

海軍

可證別紙ノ通り

(別紙添)

寫送付先 ボンチャナツク支部長

(終)

海軍

ボ民交第三〇號

昭和十七年十月二十九日

ボルネオ民政部

ボンチャナツク支部長

住友ボルネオ殖産株式會社

常務取締役 平岩喜一殿

許 可 書

昭和十七年十月十七日附住殖第三號ニ依ル自動車業營業ノ件許可ス  
但シ左記各項心得ヘシ

記

- 一 常ニ本自動車業ノ使命重大性ヲ自覺シ且民政部ノ代行機關トシテ  
公共ノ福利増進ニ寄與スルコトヲ信條トシ經營ニ任スヘシ
- 一 左記ノ者ニ對シテハ旅客運賃ヲ免除シ優先乗車セシムヘシ

海 軍

- (イ) 帝國海軍軍人ニシテ公務ヲ帶ヒタル者
- (ロ) 民政部職員ニシテ本業監督ノ職ニアル者
- (ハ) 警察官吏ノ正服ヲ着用シ又ハ身分證明書ヲ有スル者  
但シ一車一名ニ限ル

(ニ) 其ノ他民政部支部長ノ許可ヲ得タル者

一 本民政部ニ於テ公益上必要アリト認ムル場合ハ本許可ヲ制限又ハ  
取消スコトアルヘシ

一 本民政部ニ於テ必要アリト認ムル場合ハ本自動車業營業ニ關スル  
事務所、倉庫、帳簿類ヲ検査シ又ハ必要ナル命令ヲ爲スコトアル  
ヘシ

一 本業務運営ニ關シ公課ヲ免ルルコトヲ得ス

一 料金ハ左ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

海 軍

ボンチャナツクー シンカワン  
 間 旅客 大人一人ニ付 壹盾六拾仙  
 貨物 一才又八十疋ニ付 參拾仙

ボンチャナツクー インガバン  
 間 旅客 大人一人ニ付 貳盾拾  
 貨物 一才又八十疋ニ付 參拾

シンカワンーサンバス  
 間 旅客 大人一人ニ付 壹盾拾  
 貨物 一才又八十疋ニ付 參拾

シンカワンーベンカヤン  
 間 旅客 大人一人ニ付 壹盾拾  
 貨物 一才又八十疋ニ付 參拾

小人ノ旅客運賃ハ半額、乳幼児ハ無料トス  
 旅客ノ通常ノ手廻品ニ對シテハ貨物運賃ヲ免スヘシ  
 一本自動車業ニ要スル液體燃料類ハ左ノ各號ニ從ヒ本民政部ヨリ拂

海軍

下ヲ受クベシ

1、營業路線延籽程ニ其ノ一割ヲ加算シタル籽數ヲ燃料計算ノ基礎トス

2、液體燃料ノ可走距離ヲ五籽ト計算ス

3、前各號ニ依リ得タル燃料ニ其ノ一割ヲ加算シタル數量ヲ液體燃料ノ拂下量トス

4、前號ノ液體燃料ハ揮發油及石油各折半スルモノトス

5、所要液體燃料ノ一割ニ相當スル潤滑油ノ拂下ヲ請求スルコトヲ得

6、燃料類ノ拂下價格ハ當分左ノ通りトス

揮發油	一立ニ付	四十五錢
石油	一立ニ付	二十九錢
潤滑油	一立ニ付	十七錢

海軍

燃料類ノ拂下ヲ受ケントスルトキハ一月毎ニ前各號ニ依ル計  
 算書ヲ添ヘタル燃料類拂下申請書ヲ提出スヘシ但シ狀況ニ依  
 リ一月分ヲ分括拂下クルコトアルヘシ  
 燃料類ハ特ニ其ノ取扱ヲ注意シ毫モ濫費ニ流レ又ハ他ニ流用スル  
 ガ如キコトアルヘカラス  
 毎月分ノ燃料類ニ剩余ヲ生シタルトキニハ次回ノ拂下申請書ニ其  
 ノ旨記載シ減額拂下ヲ受クヘシ  
 營業成績ハ各路線別ニ記録シ收支計算書ト共ニ毎月分ヲ翌月十日  
 迄ニ本民政部ニ提出スヘシ  
 利益金ノ處分ニ付テハ本民政部ノ指示ヲ受クヘシ  
 營業路線又ハ營業條件ヲ變更セントスルトキハ本民政部ノ許可ヲ  
 受クヘシ  
 本許可書ニ從ヒ業務ヲ開始シタルトキハ料金表其ノ他參考書類ヲ  
 添付シ本民政部ニ届出ツヘシ

海軍

民政府文號外  
 昭和十八年四月三十日  
 海軍省南方政務部部中  
 民政府交通工本局

書類送付ノ件同答  
 四月廿日貴部依頼ノ民政府總機密第一三號  
 関係文書一月二十日付本局才民政部給第一號、  
 一三トランク便ニテ送付候旨以テ相成度

海軍

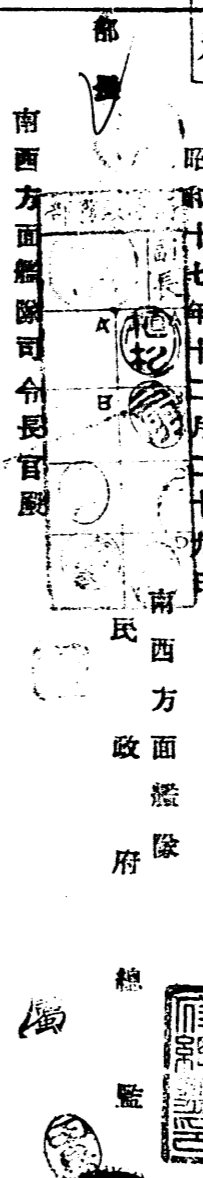
寫海軍省南方政務部長殿

極秘

民政府機密第三三五號

昭和十七年十二月二十九日

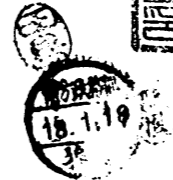
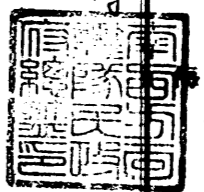
十二月三十日送付



自動車交通事業經營奉命ノ件 報告  
首題ノ件南洋拓殖株式会社ニ別紙ノ通下命致候  
(別紙指令書及命令書添)

寫送附先

- 海軍省南方政務部長
- 海軍省兵備局長
- 海軍省軍需局長
- 第二三特別根據地隊司令官



海軍

- 第一〇一燃料廠長
- 第一〇二軍需部マカッサル支部長
- 第一〇三建築部マカッサル支部長
- 南西方面艦隊ボルネオ民政部長官
- 南西方面艦隊セラム民政部長官

(終)

大臣新指令ニテ

昭和七年十月三十一日

指 令 警

南洋拓殖株式会社

其ノ社ニ對シ左記條項ニ依リセレベス處ニ於ケル一定路線ニ據ル貨客自動車運輸事業ヲ委託スルニ付速ニ所要ノ準備ヲ爲シ之カ經營ニ當ルヘシ

記

- 一、其ノ社ハ占領地經濟建設ノ一環タル使命ヲ認識シ之カ經營ニ當リテハ荷モ國家目的ニ違背スル所爲アルヘカラス
- 一、其ノ社ハ速ニ事業計畫ヲ提出シテ民政部長官ノ認可ヲ受クヘシ、認可ヲ受ケタル事業計畫ヲ變更スルトキ亦同シ
- 一、民政部長官ハ前條ノ認可ニ條件ヲ附スルコトアルヘシ
- 一、設備及土地ニ關スル權利ノ取得ハ其ノ社ノ負擔ニ於テ之ヲ爲ス、シ

一、前條ニ依ル設備ハ海軍ノ管理ニ屬ス

一、其ノ社ハ民政部長官ノ許可ヲ受ケ海軍ノ管理スル既存ノ設備及物件ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ設備及物件ニ付テハ民政部長官ノ指示スル所ニ依リ使用料ヲ納付スヘシ

一、經營ハ其ノ社ノ計畫ニ於テ之ヲ爲スヘシ

一、民政部長官特ニ必要アリト認ムルトキハ局地的ノ自動車運輸事業ヲ直營シ又ハ他ノ若ヲシテ之ヲ經營セシムルコトアルヘシ、此ノ場合ニ於テ其ノ社ニ對シ其ノ社ノ受託事業ト綜合的關聯ヲ保持セシムル爲必要ナル措置ヲ命スルコトアルヘシ

一、其ノ社ハ必要ニ應シ民政部長官ノ許可ヲ受ケ、貸切自動車運輸業ノ經營ヲ爲スコトヲ得

一、其ノ社受託事業ノ經理ハ他ノ事業ト明確ニ之ヲ區別シ其ノ豫

(昭和一六年谷精)

- 算及決算ハ民政部長官ノ承認ヲ受クヘシ
- 一、其ノ社ハ民政部長官ノ指示スル所ニ依リ道路費負擔ノ趣旨ニ於テ純益ノ一部ヲ海軍ニ納附セシムルコトアルヘシ
  - 一、其ノ社事業ノ經營ニ依リ特ニ著シク道路ヲ損傷スルト認めタルトキ民政部長官ハ當該道路ノ維持修繕ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ
  - 一、其ノ社事業ノ經營ニ伴ヒ道路ノ占用ヲ必要トスルトキハ其ノ都度民政部長官ノ許可ヲ受クヘシ
  - 一、其ノ社ハ設備ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス、但シ民政部長官ノ命令アリタル場合又ハ許可ヲ得タル場合ハ此限リニ在ラス
  - 一、民政部長官必要アリト認めルトキハ其ノ社ノ施設セル設備ノ全部又ハ一部ヲ適正ノ價格ヲ以テ買收シ又ハ他ノ者ニ賣却スヘキコトアルヘシ

(昭和十六年法律)

- トヲ命スルコトアルヘシ
- 一、民政部長官ハ事業ノ經營監督上必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ隨檢セシメ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトアルヘシ
  - 一、民政部長官ハ前各號ニ依ルノ外事業ノ經營ニ關シ路線ノ指定、配車其ノ他軍事上又ハ公益上必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ
  - 一、民政府總監必要アリト認めルトキ本指令ヲ取消又ハ變更スルトアルヘシ
  - 一、其ノ社事業實施ニ伴フ既存事業ノ承繼ハ民政部長官ノ指示スル所ニ據ルヘシ

昭和十七年十二月二十九日

民政府總監

改訂命令書  
昭和十七年十二月二十九日

命 書

南洋拓殖株式會社

其ノ社ハセレベス島ニ於テ一般貨物自動車運送事業ヲ經營スベシ、但シ左記ノ通心得ヘシ

記

- 一、其ノ社ニ於テ經營スヘキ運送事業ノ範圍ハ民政部長官別ニ之ヲ指示ス
- 一、其ノ社ハ前號ノ指示ニ依リ事業實施計畫ヲ樹テ民政部長官ノ承認ヲ受クヘシ、事業計畫ノ變更、事業ノ中止又ハ廢止若ハ設備ノ譲渡其ノ他ノ處分ヲ爲サムトスルトキ亦同シ
- 一、民政部長官必要アリト認ムルトキハ事業計畫ノ變更其他事業ノ運送ニ關シ隨時必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

海 軍

海 軍

- 一、其ノ社ハ占領地經濟建設ノ一環タル使命ヲ認識シ事業ノ經營ニ當リテハ苟モ國家目的ニ違背スルコトナク又他ノ運送事業者ト相互ニヨク連繫協力シテ輸送能率ノ増進ヲ圖ルヲ要ス
- 其ノ社ハ正當ノ事由ナクシテ他人ノ運送委託ヲ拒ムコトヲ得ス
- 一、民政部長官ハ道路費負擔ノ趣旨ニ於テ純益ノ一部ヲ滙算ニ納附セシムルコトアルヘシ
- 一、其ノ社事業ノ經營ニ伴ヒ道路ノ占用ヲ必要トスルトキハ其ノ都度民政部長官ノ指示ヲ受クヘシ
- 一、其ノ社本條項ニ違背シタルトキ又ハ公益上必要アリト認ムルトキ民政府總監ハ本命令ヲ變更又ハ取消スコトアルヘシ

昭和十七年十二月二十九日

民 政 府 總 監



極秘

寫

海軍省南方政務部長殿

民政府機密第二一七號

昭和十七年十一月

南西方面艦隊司令官殿

南西方面艦隊民政府總監

十二月二十四日

生

18. 6

自動車工業經營方下命ノ件報告  
首題ノ件トヨタ自動車工業株式會社ニ別紙指令書ノ通指令シ所要ノ自動車工業設備ノ整備並之ガ經營方下命致候

(別紙指令書添)

寫送付先

- 海軍省南方政務部長
- 海軍省兵備局長
- 海軍省軍需局長
- 海軍省各機隊司令官
- 海軍省各燃料廠長
- 海軍省各船渠部長
- 海軍省各建築部長

指令書

トヨタ自動車工業株式會社

其ノ社ニ對シ左記條項ニ依リ自動車工業ノ經營ヲ委託スルニ付速ニ別記地區ニ於テ自動車ノ修理、組立及製作ニ關スル設備ヲ爲シ之カ經營ニ當ルヘシ

記

- 一 設備及土地ニ關スル權利ノ取得ハ其ノ社ノ負擔ニ於テ之ヲ爲スヘシ
- 一 前號ニ依ル設備ハ海軍ノ管理ニ屬ス
- 一 經營ハ其ノ社ノ計算ニ於テ之ヲ爲スヘシ
- 一 其ノ社ハ占領地經濟建設ノ一翼タル使命ヲ認識シ之カ經營ニ當リテハ苟モ國家目的ト公益ニ違背スル所爲アルヘカラス
- 一 其ノ社ハ設備計畫並事業經營ニ關スル所要ノ計畫ヲ提出シテ民政部長官ノ認可ヲ受クヘシ、認可ヲ受ケタル設備計畫及事業計畫ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

- 一 民政部長官ハ前號ノ認可ニ條件ヲ附スルコトアルヘシ
- 一 其ノ社ハ民政部長官ノ許可ヲ受ケ海軍ノ管理スル自動車工業設備ノ一部ヲ使用スルコトヲ得
- 一 其ノ社ハ必要ニ應シ民政部長官ノ許可ヲ受ケ自動車部品ノ販賣ヲ爲スコトヲ得
- 一 民政部長官ハ事業ノ經營ニ關シ軍事上又ハ公益上必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ
- 一 其ノ社ハ設備ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス但シ民政部長官ノ命令アリタル場合又ハ許可ヲ得タル場合ハ此限リニ在ラス
- 一 民政部長官必要アリト認ムルトキハ其ノ社ノ施設セル設備ノ全部又ハ一部ヲ適正ノ價格ヲ以テ買收シ又ハ他ノ者ニ賣却スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ
- 一 民政部長官ハ事業ノ經營監督上必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲ

シテ必要ナル場所ニ臨檢セシメ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトアルヘシ

一 民政府總監必要アリト認ムルトキハ本指令ヲ取消又ハ變更スルコトアルヘシ

昭和十七年十月十二日

民政府總監

(別記)

地 區  
セレベス地區  
ボルネオ地區  
セラム地區

事 業 地  
マカツサル、メナド、ケンダリ、シンガラヂヤ又ハデンバツサル  
バンヂヤルマシン、バリツクババン、ボンテアナ  
アンボン、クーバン

指 令 書

トヨタ自動車工業株式会社

其ノ社ニ對シ左記條項ニ依リ自動車工業ノ經營ヲ委託スルニ付連ニ別記地區ニ於テ自動車ノ修理、組立及製作ニ關スル設備ヲ爲シ之カ經營ニ當ルヘシ

記

- 一 設備及土地ニ關スル權利ノ取得ハ其ノ社ノ負擔ニ於テ之ヲ爲スヘシ
- 一 前記ニ依ル設備ハ海軍ノ管理ニ關ス
- 一 經營ハ其ノ社ノ計算ニ於テ之ヲ爲スヘシ
- 一 其ノ社ハ占領地經濟建設ノ一環タル使命ヲ賦與シ之カ經營ニ當リテハ苟モ國策目的ト公益ニ違背スル所爲アルヘカラス
- 一 其ノ社ハ設備計畫並事業經營ニ關スル所要ノ計畫ヲ提出シテ民政部長官ノ認可ヲ受クベシ、認可ヲ受ケタル設備計畫及事業計畫ヲ變更セムトスルトキ亦同シ
- 一 民政部長官ハ前記ノ認可ニ條件ヲ附スルコトアルヘシ
- 一 其ノ社ハ民政部長官ノ許可ヲ受ケ海軍ノ管理スル自動車工業設備ノ一部ヲ使用スルコトヲ得
- 一 其ノ社ハ必要ニ購シ民政部長官ノ許可ヲ受ケ自動車部品ノ販賣ヲ爲スコトヲ得
- 一 民政部長官ハ事業ノ經營ニ關シ軍事上又ハ公益上必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ
- 一 其ノ社ハ設備ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス但シ民政部長官ノ命令アリタル場合又ハ許可ヲ得タル場合ハ此限リニ在ラス
- 一 民政部長官必要アリト認ムルトキハ其ノ社ノ施設セル設備ノ全部又ハ一部ヲ適正ノ價格ヲ以テ買收シ又ハ他ノ者ニ賣却スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ
- 一 民政部長官ハ事業ノ經營監督上必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏

テシテ必要ナル場所ニ臨檢セシメ業務ノ状況若シハ緩急其ノ他  
ノ物件ヲ檢査セシムルコトアルヘシ  
一 民政府總督必要アリト認ムルトキハ本指令ヲ取消又ハ變更スルコ  
トアルヘシ

昭和十七年十月十二日

民政府總督

(別記)

地区	事項
セレス地区	マカキル、ウタカ、ケンケン、セレス、マカキル、ウタカ、ケンケン
ボルネオ地区	パンダヤルマセン、ヌラウツタイン、ボシチア
セラム地区	アンボシ、タコパン

昭和十七年十月十二日

便 附 書

トヨタ自動車工業株式会社  
南方派遣責任者 山口英夫

弊社儀

昭和十七年十月十二日附御指令相受候自動車工業經營ヲ委託セラレ  
候ニ就イテハ各條項ヲ絕對ニ遵守シ爾來目的ノ達成ニ邁進可致願シ  
テ御附書及提出候也

民政府謹啓

閣下

寫

海軍省南方政務部長 啟

民政府機密第六五號

三月二十五日 送

南西方面艦隊司令部 印

18.4.2 接受

長 濟

昭和十八年三月二十三日

南西方面艦隊民政府總監

南西方面艦隊參謀長

「テルナテ」港倉庫建築並ニ經營及當該港ニ於ケル  
荷役業經營委託方下命ノ件通知

首題ノ件南太平洋貿易株式會社ニ別紙指令書交付早急建築並ニ經營  
委託方下命致候

寫送付先

海軍省南方政務部長

海軍省兵備局長

海軍省經理局長

海軍施設本部長

第二十四特別根據地隊司令官

海軍

民政府指令第八號

指令書

南太平洋貿易株式會社

其ノ社ハ別紙建築指示書ニ依リテ港倉庫ヲ建築スルト共ニ當該港ニ於ケル倉庫業並ニ荷役業ヲ經營スベシ 但シ之ガ實施ニ當ツテハ左記條項ヲ遵守スベシ

記

- 一 其ノ社ハ占領地經濟建設ノ一翼トシテ使命ヲ認識シ之ガ經營ニ當ツテハ苟モ國家目的ト公益ニ違背スル所爲マルベカラズ
- 二 倉庫ノ建築及ビ土地其ノ他ニ関スル權利ノ取得ニ要スル費用ハ其ノ社ニ於テ之ヲ負担スベシ
- 三 其ノ社ヲシテ經營セシムル倉庫ハ別紙指示書ニ基キ建築シタル倉庫
- 五 棟ノ外ニ舊N.K.K倉庫一棟計六棟トス
- 四 當該倉庫及荷役施設ハ海軍ノ管理ニ屬スモノトス
- 五 倉庫業及荷役業ノ經營ハ其ノ社ノ計算ニ於テ之ヲ爲スベシ
- 六 民政府總監ハ當該倉庫及荷役業ノ經營監督上必要ナル命令ヲ爲ス
- 七 其ノ社ハ舊N.K.K倉庫及既存荷役施設ニ對シテ民政府總監ノ定ムル料率ニヨリ使用料ヲ支拂フベシ
- 八 其ノ社ハ其ノ社ニ於テ建築シタル倉庫ニ関シテ讓渡其他ノ處分ヲ爲スニトヲ得ズ但シ民政府總監ノ命ニ依ル場合又ハ其ノ許可ヲ得タル場合ハ之ノ限リ非ス
- 九 其ノ社ハ當該倉庫及荷役作業ニ関スル料金率ヲ設定シ又ハ之ヲ變更セントスルトキハ民政府總監ノ許可ヲ受クベシ
- 一〇 民政府總監ハ當該倉庫及荷役業ノ經營ニ関スル監督上必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトアルベシ
- 一一 民政府總監必要アリト認ムルキハ其ノ社ヲシテ民政府總監ノ指定スル者ニ對シ當該倉庫ヲ賣却又ハ貸與セシムルコトアルベシ



三 民政府總監ハ本指令書ニ規定セル權限ノ一部ヲセラム民政部長官ニ  
委任スルコトアルベシ

一 三 民政府總監必要アリト認ムルトキハ本指令書ヲ取消スベシアルベシ

昭和十八年三月三日

海軍政府總監

(終)

建築指示書

南太平洋貿易株式會社

一、其、社ヲシテ建築セル「デルナテ港倉庫(附屬着色、晒所)ハ五棟  
總面積約六三〇〇平方米トス

二、其、社ハセラム民政部長官、指定セル建築線ニ據リ建築スベシ

三、建築スベキ倉庫、標準構造ハ木造平家・基礎及床コンクリート  
外壁下見張・中仕切板張・小屋組木骨造・屋根亜鉛引鉄板葺  
窓、建具木造ペンキ塗トス

四、其、社ハ着工前豫メ各倉庫、設計書ヲ作製シ之ヲセラム  
民政部長官ニ提出シ其、認可ヲ受クベシ 若シ標準構造  
ニ據ルヲ得ザル場合ハ其、理由ヲ付スベシ

五、其、社ハ工事ニ着工シタルキハ一週間以内ニセラム民政部長官ニ

着工届ヲ提出シ又當該倉庫竣工後一週間以内ニ竣工圖及ビ  
工費精算書ヲ提出シ其、検査ヲ受クベシ

六、其、社ハ昭和十八年十月迄ニ完成スルヲ要ス

昭和十八年三月三日

(終)

海軍政府

海軍局長

テルナテ倉庫位置圖 1/2000

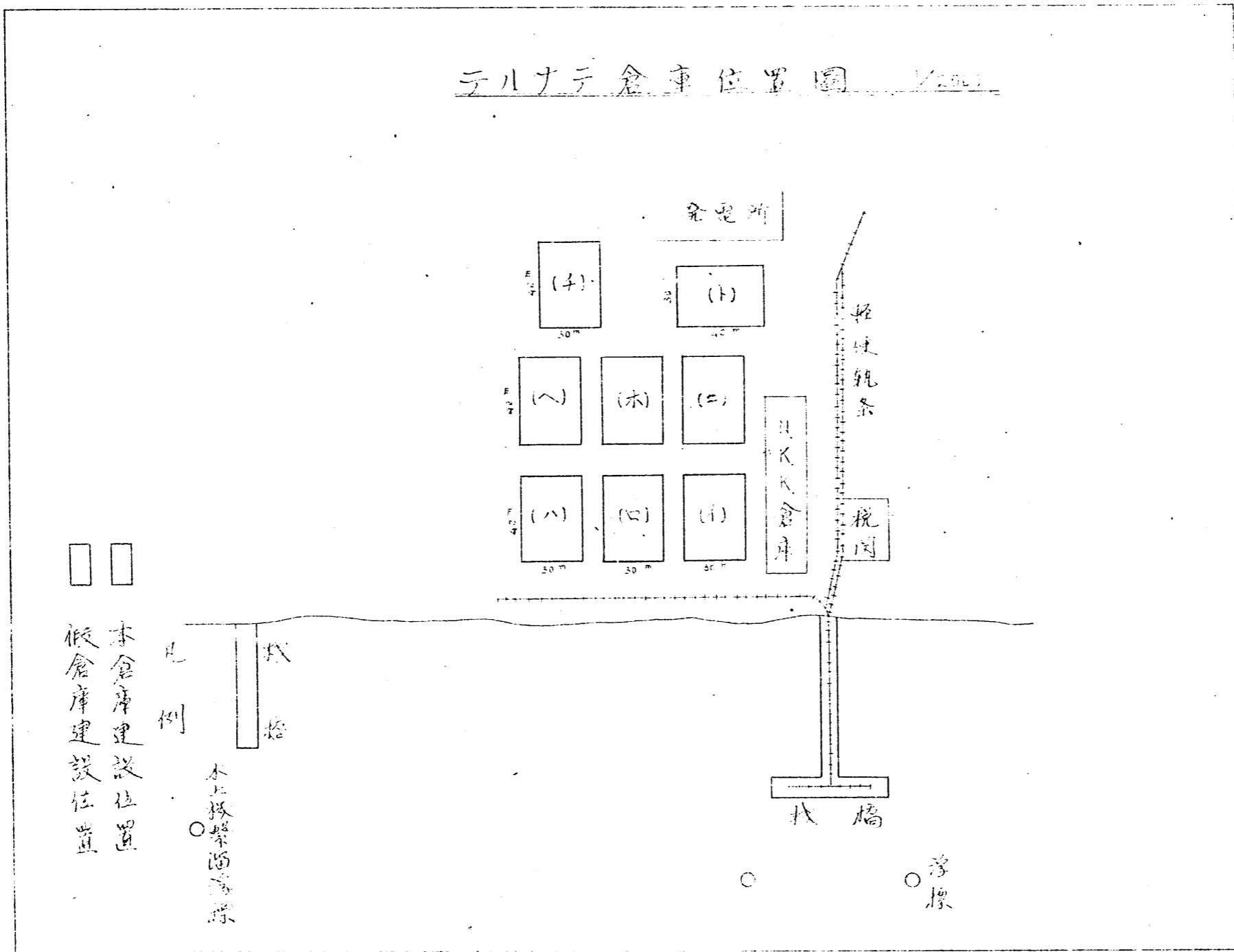
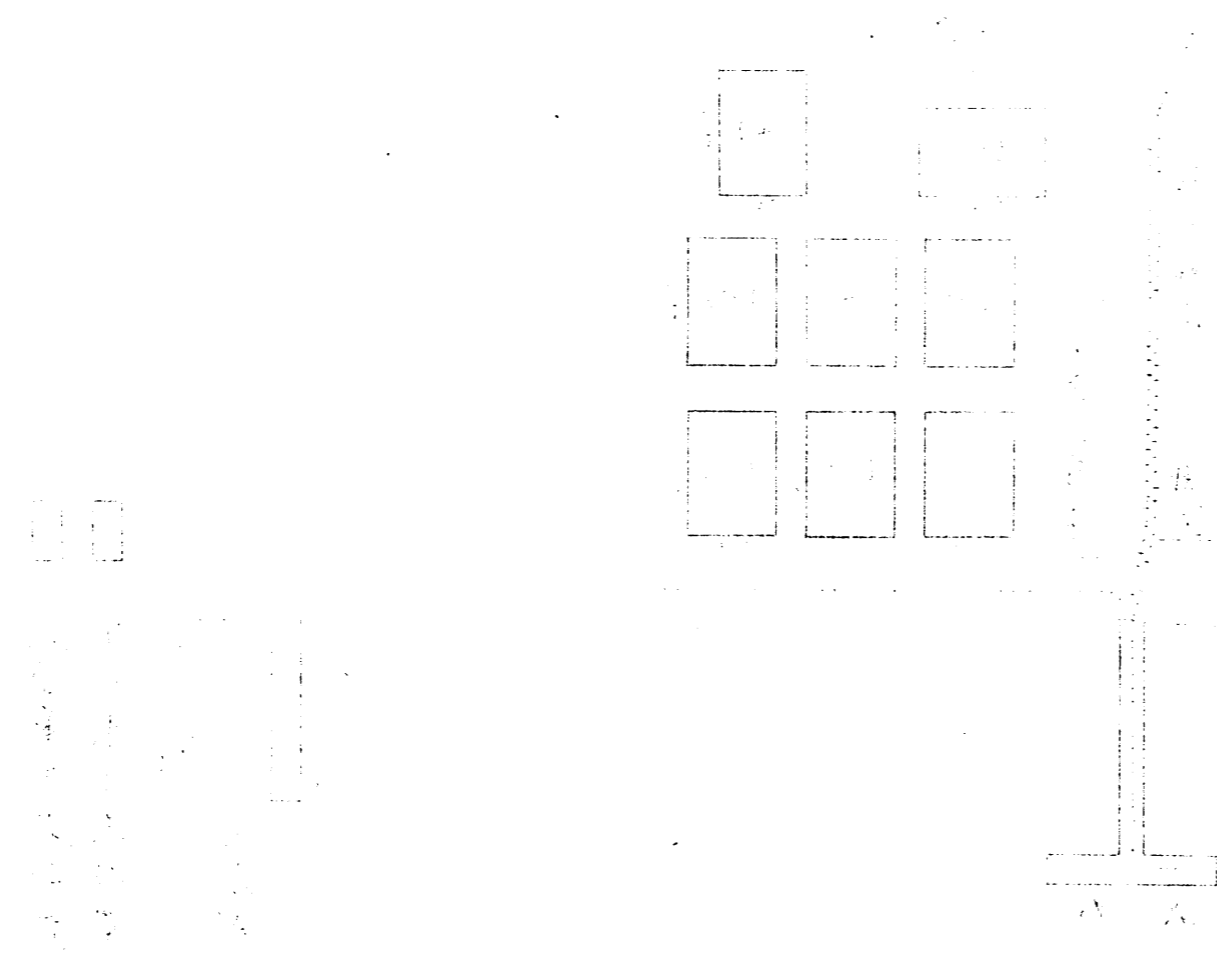
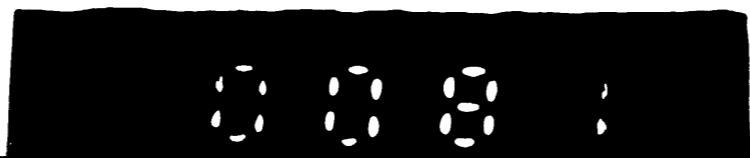


Figure 1



REEL No. A-1180



海軍省南方政務部長

寫

民政府機密第二一七號

昭和十七年十月十二日

十月十三日送付

極秘

南西方面艦隊司令長官殿

自動車工業經營方下命ノ件 報告

首題ノ件トヨタ自動車工業株式會社ニ別紙指令書ノ通指令シ所要ノ  
自動車工業設備ノ整備並之カ經營方下命致候  
(別紙指令書添)

寫送附先

海軍省南方政務部長

海軍省兵備局長

海軍

海軍省南方政務部長

海軍省軍需局長

第二三二三四各特別根據地隊司令官

第一〇一〇二各海軍燃料廠長

第一〇二海軍軍需部長

第一〇二海軍建築部長

(終)

海軍

寫

指 令 書

トヨタ自動車工業株式会社

其ノ社ニ對シ左記條項ニ依リ自動車工業ノ經營ヲ委託スルニ付連ニ別記地區ニ於テ自動車ノ修理、組立及製作ニ關スル設備ヲ爲シ之カ經營ニ當ルヘシ

記

- 一 設備及土地ニ關スル權利ノ取得ハ其ノ社ノ負擔ニ於テ之ヲ爲スヘシ
- 一 前號ニ依ル設備ハ海軍ノ管理ニ屬ス
- 一 經營ハ其ノ社ノ計算ニ於テ之ヲ爲スヘシ
- 一 其ノ社ハ占領地經濟建設ノ一翼タル使命ヲ認識シ之カ經營ニ當リテハ苟モ國家目的ト公益ニ違背スル所爲アルヘカラス

(四三三)

海 軍

(四三版地)

「其ノ社ハ設備計畫並事業經營ニ關スル所要ノ計畫ヲ提出シテ民政  
 部長官ノ認可ヲ受クヘシ、認可ヲ受ケタル設備計畫及事業計畫ヲ  
 變更セムトスルトキ亦同シ  
 「民政部長官ハ前號ノ認可ニ條件ヲ附スルコトアルヘシ  
 「其ノ社ハ民政部長官ノ許可ヲ受ケ海軍ノ管理スル自動車工業設備  
 ノ一部ヲ使用スルコトヲ得  
 「其ノ社ハ必要ニ應ジ民政部長官ノ許可ヲ受ケ自動車部品ノ販賣ヲ  
 爲スコトヲ得  
 「民政部長官ハ事業ノ經營ニ關シ軍事上又ハ公益上必要ナル命令ヲ  
 爲スコトアルヘシ  
 「其ノ社ハ設備ヲ付譲渡其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス但シ民政部  
 長官ノ命令アリタル場合又ハ許可ヲ得タル場合ハ此限リニ在ラス

海軍

本管理自動車工業設備ノ一  
 部ヲ本條項ニ依リト自  
 身工業株式会社ニ使用セ  
 シムルニ付テハ其ノ都度豫  
 大管理當局ニ對シ協議ス

「民政部長官必要アリト認ムルトキハ其ノ社ノ施設セル設備ノ全部  
 又ハ一部ヲ適正ノ價格ヲ以テ買收シ又ハ他ノ者ニ賣却スヘキコト  
 ツ命スルコトアルヘシ」  
 「民政部長官ハ事業ノ經營監督上必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏  
 ツシテ必要ナル場所ニ臨檢セシメ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他  
 ノ物件ヲ檢査セシムルコトアルヘシ」  
 「民政府總監必要アリト認ムルトキハ本指令ヲ取消又ハ變更スルコ  
 トアルヘシ」

昭和十七年十月十二日

民政府總監

海軍

(別記)

地區	事業	地
セレベス地區	マカツサル、メナド、ケンダリー、シンガラヂヤ又ハデンパツサル	
ボルネオ地區	バンヂヤルマシシ、バリツクババン、ホンテアナ	
セラム地區	アンボン、クーバン	



南方面軍務部  
副長  
長  
三月十日  
19.4.4  
局長  
171

民政部第六五號

國際電氣通信株式會社東印度總局長

暫定東印度總局支局規程改正ニ關スル件指令

昭和十九年二月十七日附國東總業第一七六號申請ノ件認可ス

昭和十九年三月十三日

南西方面海軍民政部總監 山崎 巖

寫送付先

海軍省兵備局長

海軍省南方面政務部長

各民政部長官

各州知事

海軍

國東總業第一七六號

昭和十九年二月十七日

國際電氣通信株式會社

東印度總局長

南西方面海軍民政部總監殿

暫定東印度總局支局規程改正ニ關スル件申請

今般セラム海軍民政部御改組ニ伴ヒ弊社支局規程左記ノ通改正實施致  
度ニ付キ御認可相成度及申請候

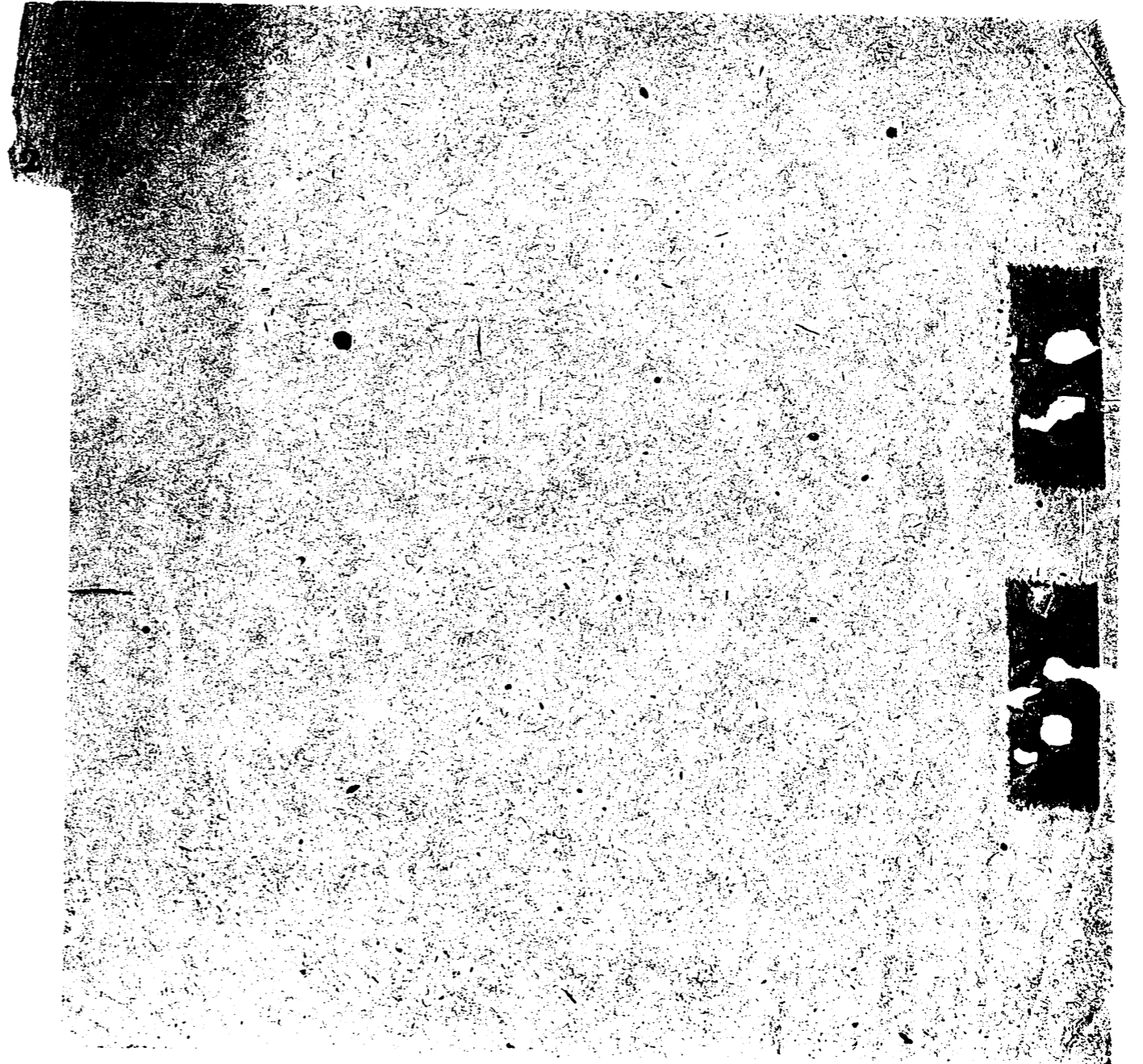
記

第一條別表中 名稱「國際電氣通信株式會社東印度總局セラム支局」

ヲ「國際電氣通信株式會社東印度總局小スンダ支局」ニ、業務區域

「セラム海軍民政部管區」ヲ「小スンダ海軍民政部管區」ニ改ム

海軍



REEL No. A-1180



アジア歴史資料センター

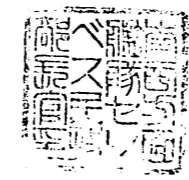


セレベス民政部商機密  
第二七號ノ二

昭和十七年十月廿二日

セレベス民政部長官 數 藤 鐵 臣

南方 政 務 部 長 殿



敵産自動車修理工場ノ委託經營ニ關スル件報告

今般左記工場ノ經營ヲトヨダ自動車工業株式會社ニ委託候理由書、  
同工場概要及指令書寫添付此段及報告也

記

一、マカツサル市マチニアヨIEWUEI所在

敵産自動車修理工場

部 長



南	長	政	務	部
南	長	政	務	部
南	長	政	務	部
南	長	政	務	部
南	長	政	務	部

海 軍

(六一二原納)

17.12.24  
接受

字

セレベス民政部商機密第二七號ノ一〇

昭和十七年十月二十二日

セレベス民政部長官

數 藤 鐵 臣

トヨダ自動車工業株式會社殿

指 令 書

マカツサル市マチニアヨIEWUEI七九所在敵産自動車修理工場ノ經  
營ヲ其ノ社ニ委託スルニ付別紙條項ニ準據シ之ガ經營ニ當ルベシ

(終)

(六一二原納)

海 軍

敵産自動車修理工場ヲトヨタ自動車工業株式会社ニ委託經營セシメントスル理由

- 一、トヨタ自動車工業株式会社ハ中央ヨリ指定セラレタル當セレベス島地域ニ於ケル自動車修理業者ナルコト
- 二、同社ハ昭和十七年四月當工場ガ根據地隊司令部ヨリセレベス民政部へ經營ヲ移管セラレシ以來民政部管理ノ下ニ事實上工場ノ復舊並ニ直接經營ノ業務ニ從事セルモノナルコト

(終)

(六一二 原稿)

海軍

敵産自動車修理工場ノ概要

- 一、工場名 通稱セトラム自動車工場
- 二、所在地 マカツサル市マチニアヨーウエー七九
- 三、工場敷地 一、四七〇坪
- 四、建物坪数 三棟三八四坪
- 五、設備概要  
エーヤコンプレッサー 一箇 五十封度(約)  
ガソリンスタンド 一式  
水槽並ニモーター(十馬力) 各一  
萬力 八個  
旋盤(破損使用不能) 一臺  
ボール盤(手働式) 一臺  
送風機(手働式) 一臺  
充電機 一臺

(終)

海軍

(六一二 原稿)

敵産自動車修理工場委託經營ニ關スル指示事項

- 一、敵産自動車修理工場ニ經營ニ關シテハ國營ニ依ルベキ處ナルモ茲當其其社ヲ指定シ之ガ經營ニ當ラシム
- 其ノ社ニ於テハ眞ニ國家ノ代行機關的使命ト榮譽トヲ確認シ誠意之ガ經營ニ從事シ以テ國家ノ要請ニ應フベキコト
- 二、經營ニ關シテハ責任者ヲ定メ民政部ト連絡ノ下ニ速ニ陣容ヲ整備シ運營ヲ開始スル様措置スベキコト
- 三、經營ハ會社ノ計算ニ於テ之ヲ爲スコト、經營受託ノ際ニ於ケル現狀施設其ノ他一切ノ財産帳簿ヲ作成民政部ニ提出シ承認ヲ受クルト共ニ爾後財産ノ變動ヲ明確ナラシメ置クコト
- 四、會計ハ其ノ社ノ他ノ專業經營ト切離シタル特別會計トシ投資及經營ノ收支ヲ常ニ明確ナラシメ置クコト

(一四一〇原稿)

海軍

- 五、時々專業經營ニ關スル報告ヲ爲スト共ニ毎月末日締切ヲ以テ速ニ會計報告ヲ爲スベキコト、尙利益金ノ處分ハ民政部ノ承認ヲ得テ之ヲ爲スベキコト

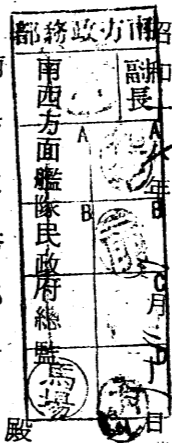
- 六、其ノ社ノ經營ニ不都合ノ虞アリタル場合又ハ民政部ノ都合ニ依リ經營ノ委託ヲ取消スコトアルベキコト、但シ民政部ノ都合ニ依リ取消ス場合ニ於テハ民政部ハ特ニ補償ノ責ニ任ゼザルモ其ノ社ノ既投資ニ付テハ經營ノ實績ヲ考慮シ妥當ナル評價ヲ爲シ處理スベキコト

- 七、前各號ノ外民政部ノ指示スル所ニ依ルベキコト

(一四一〇原稿)

海軍

部長



南方政務部長

セレベス民政部長官



昭和十八年一月二十一日

海軍

敵産椰子園ノ委託經營ニ關スル件報告  
今般左記ノ通敵産椰子園ノ經營ヲ緒方商店ニ委託經營セシメ候條此段  
及報告候也

記

一、緒方商店經營ノ分(別紙一添付ノコト)

昭和十八年一月二十一日

海軍

セレベス民政新設椰子園事務人等  
指令書

緒方商店

セレベス民政部マンタル、バレバレ分州在左記椰子園ノ經營ヲ委託ス  
ルニ付別紙條項ニ準據シ之カ經營ニ當ルベシ

昭和十八年 一月二十一日

セレベス民政部長官



記

- 一、マタツテボレワリ在 マタツテ農園
- 二、セカセカマビリイ在 セカセカ農園
- 三、ボレワリ在 チヤバツカ農園
- 四、マンブマビリ在 マンブ農園
- 五、ラリアン在 ラリアン園
- 六、マビリイ在 マビリイ椰子園
- 七、スムバンピナガイ農園
- 八、スツバ農園
- 九、チヤツカルン農園
- 一〇、ラブツクカン農園
- 一一、チナツコ農園

昭和十八年一月二十一日

敵産椰子園委託經營ニ關スル指示事項

- 一、敵産椰子園ノ經營ニ關シテハ國營ニ依リ爲スベキ處ナルモ差シ當リ其ノ社ヲ指定シ之ガ經營ニ當ラシム
- 其ノ社ニ於テハ眞ニ國家ノ代行機關的的使命ト榮譽トヲ確認シ誠意之ガ經營ニ從事シ以テ國家ノ要請ニ應フベキコト
- 二、經營ニ關シテハ責任者ヲ定メ民政部ト連絡ノ下ニ速ニ所要ノ設備ヲ整備シ運營ヲ開始スル様措置スベキコト
- 三、經營ハ會社ノ計算ニ於テ之ヲ爲スコト
- 經營受託ノ際ニ於ケル現狀施設其ノ他一切ノ財産帳簿ヲ各椰子園毎ニ作成提出シ民政部ノ承認ヲ受クルト共ニ爾後財産ノ變動ヲ明確ナラシメ置クコト
- 四、會計ハ其ノ社ノ他ノ事業經營ニ切離シタル特別會計トシ投資及經營ノ收支ヲ常ニ明確ナラシメ置クコト

昭和十六年六月

- 五、時々事業經營ニ關スル報告ヲ爲スト共ニ毎月末日締切ヲ以テ速ニ會計ヲ爲スベキコト 尙利益金ノ處分ハ民政部ノ承認ヲ得テ之ヲ爲スベキコト
- 六、其ノ社ノ經營ニ不都合ノ點アリタル場合又ハ民政部ノ都合ニ依リ經營ノ委託ヲ取消スコトアルベキコト但シ民政部ノ都合ニ依リ取消ス場合ニ於テハ民政部ハ特ニ補償ノ責ニ任ザルモ其ノ社ノ既投資ニ付テハ經營ノ實績ヲ勘考シテ適當ナル議評價ヲ爲シ處理スベキコト
- 七、前各號ノ外民政部ノ指示スル所ニ依ルベキコト

(終)

寫送付先

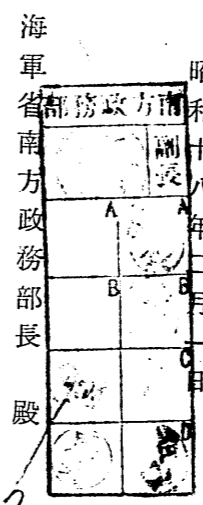
- 第一〇二海軍經理部マカツサル支部長
- 第一〇二海軍軍需部マカツサル支部長
- 第二十三海軍特別根據地隊司令官

昭和十六年六月



セレス民政部機密第十九號

昭和十八年二月一日



南西方面艦隊  
セレス民政部長官

敵産ゴム園及コーヒー園委託經營ニ關スル件

管内セレス島バロンベツシー及バランリリニ於ケル敵産ゴム及コーヒー園ノ經營ニ關シ別紙ノ通南洋興發株式會社ヲシテ委託經營セシムルコトト相成候條此段及報告候也

寫 送 付 先  
海軍經理部 マカツサル支部長

( 終 )

(昭和十六年發行)

セレス民政部機密第一九號

南洋興發株式會社  
マカツサル地區專業所長

文 野 年 紀

指 令 書

管内南部セレス州ボンタイン分州ブルクンバ副分州バロンベツシー及バランリ、所在ゴム並ニ、コーヒー園ノ理營ヲ其社ニ委託スルニ付別紙指示事項ニ準據シ之ガ經營ニ當ルベシ

昭和十八年二月一日

海軍セレス民政部長官

(昭和十六年發行)

敵産ゴム並コーヒー園委託經營ニ關スル指示事項

- 一、敵産ゴム並コーヒー園ノ經營ニ關シテハ國營ニ依リ行フ可キ所ナルモ差當リ其ノ社ヲ指定シ之ガ經營ニ當ラシム  
其社ニ於テハ直ニ國家ノ代行機關タルノ使命ト營譽トヲ確認シ誠意之ガ經營ニ從事シ以テ國家ノ要請ニ應フベキコト
- 二、經營ニ關シテハ責任者ヲ定メ民政部トノ連絡ノ下ニ速ニ所要ノ陳容ヲ整備シ連營ヲ圖ル様措置スベキコト
- 三、經營ハ會社ノ計算ニ於テ之ヲ爲スコト  
經營受託ノ際ニ於ケル現状施設其他一切ノ財産帳簿ヲ作成提出シ民政部ノ承認ヲ受クルト共ニ爾後財産ノ變動ヲ明確ナラシメ置クコト
- 四、會計ハ其ノ社ノ他ノ事業ト切離シタル特別會計トシ投資及經營ノ收支ヲ常ニ明確ナラシメ置クコト

(昭和十六年春)

五、時々事業經營ニ關スル報告ヲナスト共ニ毎月末日締切ヲ以テ速ニ會計報告ヲ爲スベキコト

六、其ノ社ノ經營ニ不都合ノ虞アリタル場合又ハ民政部ノ都合ニ依リ委託經營ニ取消スコトアルベキコト  
但シ民政部ノ都合ニ依リ取消ス場合ニ於テハ民政部ハ特ニ補償ノ責ニ任ゼザルモ其ノ社ノ既投資ニ付テハ經營ノ實績ヲ勘考シ妥當ナル評價ヲナシ處理スベキコト

七、前條各號ノ外民政部ノ指示スル所ニ依ルベキコト

(昭和十六年春)

每 頁

参 考

敵産ゴム園及コーヒー園ノ概要

一、所在地 プルクンバ北東約三〇軒

二、元經營者 英國系資本ニ依ル *Hilson and Crossfold Malassar N.V.*

*Celebes-Landbouw NV-Batavia*

ノ經營ニ依ルモノニシテ同社ハ上記

二農園ノ外先ニ坪野商店ニ委託經營セシメタル、バラングツサン

カボツク農園ヲモ經營セリ

三、規模

(イ) バロンベツジーゴム園及コーヒー園

バラゴム植栽面積 四一六、〇九〇陌 約九八、一七〇本

ロプスターコーヒー園 二六、〇〇〇陌 約三九、〇〇〇本

バラゴムノ樹令ハ一五―二〇年ノ優良樹ニシテ、コーヒート共ニ

目下生産旺盛期ナリ

(昭和一六年資料)

設備 (ゴム關係ノ……)

支配人並ニ監督住宅 各一棟

使用人住宅一戸建並二戸建 數十棟

倉庫、工場 各一棟 乾燥場 三棟及附屬舎アリ

原動機 一〇馬力 六〇瓩 二重ローラー 五臺

(ロ) バランリリゴム園及コーヒー園

バラゴム園 四〇三 約九四、八七〇本

ロプスターコーヒー園 約六五四、〇〇〇本

ゴムハ樹齡共ニ五年前後

生産旺盛期ニ在リ

設備

ゴム園ノ設備ハ大体前者ニ同ジ コーヒー園ニ對シテハ別ニ使用

人住宅數十棟ヲ有スル外動力脱皮機及火力乾燥機ヲ有ス

(ハ) 生産高 (二五、六一年)

(昭和一六年資料)

兩園合計  
 コム 七三〇トン  
 コーヒー 五、〇〇〇ピクル

(昭和一六英答附)

セレベス民政部經機密第二三四號

南西方面艦隊  
 セレベス民政部長官  
 海軍省南方收務部長 殿

敵産コム園及コーヒー園委託經營ニ關スル件

二月一日附機密第一九號ヲ以テ報告致置候首題ノ件添付参考書類中誤有之候條別葉ノ通更メテ御送付候也

( 終 )

海軍

参 考

敵産ゴム園及コーヒー園ノ概要

一、所在地 プルクンバ北東約三〇軒

二、元經營者 英國系資本ニ依ル HILSON AND THORPOLD HILKINS & CO. Y.

Colches-Randow, N. T. Java

ノ經營ニ依ルモノニシテ同社ハ上記

二農園ノ外先ニ坪野商店ニ委託經營セシメタル、バラングツサンカ

ボツク農園ヲモ經營セリ

三、規 模 (イ)パロンベツシーゴム園及コーヒー園

バラゴム植栽面積 四一六・九畝 約九八、一七〇本

ロブスターコーヒー園 二六・〇畝 約三九、〇〇〇本

バラゴムノ樹令ハ一五―二〇年ノ優良樹ニシテ、コーヒート共ニ目

下生産旺盛期ナリ

(一六一二原稿)

海 軍

設 備 (ゴムノ關係ノ……)

支配人並ニ監督住宅 各一棟

使用人住宅一戸建並二戸建 數十棟

倉庫、工場 各一棟 乾燥場 二棟及附屬舎アリ

原動機 一〇 馬力 六〇 糶 二重ローラー 五臺

(ロ)バランリリゴム園及コーヒー園

バラゴム園 四〇三・畝 約 九四、八七〇本

ロブスターコーヒー園 四三六・畝 約 六五四、〇〇〇本

ゴムハ樹齡十五年前後

コーヒート共ニ生産旺盛期ニ在リ

設 備

ゴム園ノ設備ハ大體前者ニ同ジ、コーヒー園ニ對シテハ別ニ使

用人住宅數十棟ヲ有スル外動力脱皮機及火力乾燥機ヲ有ス

(一六一二原稿)

海 軍

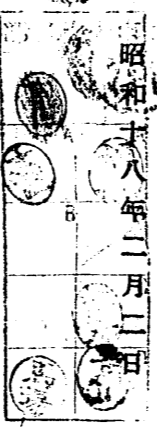
(二六一二原納)

生産高	(二五六一一年)
兩園合計	
ム	七三〇トン
コーヒ	五、〇〇〇ピクル

海軍

セレベス民政部機密第二〇號

昭和十八年二月二日



海軍省南方政務部長 殿

南西方面艦隊

セレベス民政部長官

敵産農園ノ委託經營ニ關スル件

管内セレベス島パロポ副分州ラマシー及タレンヂニ敵産農園ノ經營ニ  
 關シ別紙ノ通り三井物産株式會社ヲシテ委託經營セシムルコトト相成  
 候條此段及報告候也

寫送付先 海軍經理部マカツサル支部長

(昭和一六真谷納)